

第31回 二十五三昧会

介護が必要になっても自分らしい生き方をするために
～自分のケアプランを立ててみよう～

12月23日 (水・祝) **15時～17時**
本堂にて **参加自由**

講師：古池 桂 氏 (川西介護サービス：ケアマネジャー)

介護が必要となった時、家族やあるいは専門のケアマネジャーに任せっきりにすることもできますが、自分の意見を介護の中に反映させていくことが大切です。今回は、ケアプランの事例を紹介してもらい、それを参考に、ケアプランを立ててみます。講師が大切にしておられることは、当事者のニーズに合ったケアプランを立てることです。まかせっきりにするのではなく、自分は何がしたいか、この状況からどうなっていきたいかという事を意思表示していただくという事が大切です。そのことによって、要介護状態でも目標に向かって自分らしく、生き生きと生活していくことが可能となってきます。

今回は要介護状態になった時でも、自分らしく生きるためのケアプランをたてるレッスンです。「介護に選択肢があるのか?」と疑問に思っておられる方もおありでしょう。いろんな選択肢があります。介護保険でどれぐらいまで使えるのかも学べます。これを聞くと介護を受けるのが楽しみになるかも知れません。(国は困るかな?)

このビラをご覧になったケアマネジャーの方へお願いがあります。もし、この試みにご協力いただける方があればお寺まで、ご一報ください。

二十五三昧会(にじゅうござんまいえ)とは、お寺が中心となり「メンバーの誰かがヘルプを願い出たら、みんなで出来る範囲のお手伝いをしよう」など、おだやかな人的交流の互助的な共同体です。

尚、当日は恒例の『カボチャを食べる会』や ●11:30～『カボチャを食べる会』
「歌」、「落語会」が予定されています。 ●12:30～「沖縄民謡&昭和歌謡曲」
こちら、是非ご参加ください。(無料) ●13:00～『落語会』

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203